

編集後期

本号では、巻頭言に奥村先生が永年に亘る御研究と技術指導での御経験及び技術検討での成果をベースにした技術者として大切な基本姿勢について御教示いただき有難く思います。技術は日進月歩しており、過去の技術を十分に理解し、新しい要求に対処する橋梁技術の基本点を解かりやすく述べていただき、私共が業務を行う上で指針になりますので、活用させていただきます。先生には御多忙のところ、当技報に玉稿をお寄せいただき厚く御礼申し上げます。

本号に執筆された皆様、期限に苦勞された人も居ますが予定原稿が揃いました、御苦勞様でした。私共は平素忙がしく働いて発注先の要求品質の製品を納めています。その中で研究し、検討し、工夫して工事を行った中で得た技術を記録します。

現状を示し、明日の改善、発展を期して発行しています。技報の題材は日常業務の中に多数存在しています。特に若い技術者が技術報告、発表の場に活用され、執筆の経験を積まれることを念願しています。

最近では橋梁技術者として後世に残る多くの長大橋の仕事に参画させていただく倅を感じています。

技報編集委員会

委員	長	高野 祐吉			
副委員	長	高崎 一郎	三木 茂喜		
委員		伊木 達治	太田 貞次	太田 武美	
		清宮 昭夫	小出 勝雄	菅井 衛	
		中島 善郎	能登 宥愿	原 昭恵	
		星野 恭成*	宮崎 好永	森下 統一	

*印 事務局兼務

宮地技報 第9号

発行日 平成5年5月20日

発行所 株式会社地鉄工所

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号

(日本橋SKビル) TEL 03 (3639) 2111(代)

印刷所 三好印刷株式会社